

AERO PRESENTER

ハードウェアマニュアル

Ver. 1.0

1. はじめに	1
1.1. 付属品の確認	1
1.2. システム概要	1
2. 安全上の注意	2
3. 各部の説明	4
3.1. レーザーポインターペン	4
3.2. スクリーンセンサー	5
4. ペンの取り扱い	6
4.1. 電池の入れ方	6
5. ソフトウェアのインストール	7
6. ハードウェアのセットアップ	12
6.1. ハードウェアを設置する	12
6.2. ハードウェアの設定をする	13
7. アライメントソフトウェアの機能	15
8. ご使用するときの注意	16
9. 製品仕様	17
10. サポート	18
10.1. トラブルシューティング	18
10.2. トラブルが解決しないときは	19

- ・本製品は日本国内専用に製造および販売されています。
- ・本製品は日本国外では使用できません。
- ・日本国外で使用された製品によるいかなる問題に対しても弊社は責任を負いかねます。
- ・日本以外の国での製品の技術サポートおよびサービスは一切行っておりません。
- ・ This product is manufactured and sold for Japanese domestic market only.
- ・ This product can not be used outside Japan.
- ・ We have no responsibility for any issues caused by the use of this product outside Japan.
- ・ We also do not have any technical support and service for this product in other countries.

1. はじめに

この度は「GH-DPEN-GM」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品を正しくご利用いただくため、本取扱説明書をよくお読みください。

1.1. 付属品の確認

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> レーザーポインターペン本体 | <input type="checkbox"/> 専用ケース |
| <input type="checkbox"/> スクリーンセンサー | <input type="checkbox"/> ペンキャップ(予備) |
| <input type="checkbox"/> ミニ三脚 | <input type="checkbox"/> マグネットスタンド |
| <input type="checkbox"/> USBケーブル(1.8m) | <input type="checkbox"/> USB延長ケーブル(5m) |
| <input type="checkbox"/> 単4形乾電池×2本(動作確認用) | <input type="checkbox"/> CD-ROM(ドライバ、アプリケーション) |
| <input type="checkbox"/> 取扱説明書 | <input type="checkbox"/> 1年間保証書 |

1.2. システム概要

CPU : 1GHz 以上

メモリ : 512MB 以上





必要 HDD 領域 : 約20MB

対応 OS : Windows Vista(SP1/32bit版)、XP(SP2以降)、Windows 2000 SP4

2. 安全上のご注意


ご使用前に本書をよくお読みになり、接続する機器や周辺機器メーカーの提示する警告および注意事項を厳守して正しくお使いください。本書の内容については、予告なく変更することがあります。

■表示の説明

 警告	この表示の注意を守らないと、死亡および重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の注意を守らないと、怪我をしたり、物的障害の発生される可能性が想定される内容を示しています。
	この記号は警告および注意を促す内容を示します。
	この記号は禁止事項を示す表示です。


警告

下記の注意事項を守らないと、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

-  ・液体が内部に入った場合や異物が内部に入った場合はすぐに使用を中止してください。
- ・発煙、焦げ臭い匂い、異様な音が発生した場合はすぐに使用を中止してください。
- ・濡れた手で本製品を扱わないでください。
- ・本製品に液体を掛ける、又は水分や湿気が多い場所で使用しないでください。


■レーザーポインター

出力： 1mW 以下(クラス2) 波長： 650nm(赤色光)

-  ・レーザー光を直接または反射された光を覗き込まないでください。
- ・レーザー光を人に向けて照射しないでください。
- ・レーザー光を眼に直接照射しないでください。
- ・子供の手が届かない場所に置いてください。

■RF

周波数： 2.4GHz 帯

-  ・同じ周波数帯を使用する機器が近くにある場合、誤動作する可能性があります。
- ・他の電子機器や医療機器に影響を及ぼす恐れがある場所では使用しないでください。

注意



- ・本製品を投げたり、落としたり、衝撃を加えないでください。
- ・本製品を分解・改造、修理をしないでください。
- ・本製品に接続した周辺機器やケーブル等を外すときは必ず端子側を持って外してください。
- ・本製品をプレゼンテーション用ツールとして使用する以外の用途では、使用しないでください。
- ・動作不安定なときは、新しい電池と交換してください。電池を交換する際は、新しい電池と古い電池を混ぜないでください。

■使用・保管場所について

本製品は子供の手の届かない所に保管してください。

本製品を次のような場所に設置および保管しないでください。

- ・ 振動や衝撃が加わる場所
- ・ 静電気、強い磁界が発生する場所
- ・ 温度、湿度の差が激しい場所
- ・ 平でない場所
- ・ ほこりが多い場所
- ・ 直射日光が当たる場所
- ・ 水気が多い場所
- ・ 熱が発生する器具などの近く

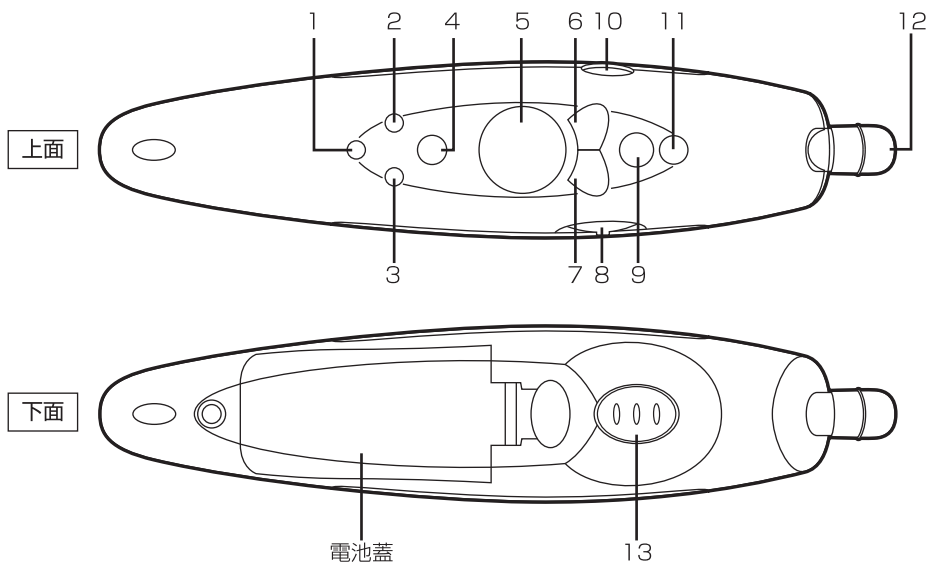
■小電力データ通信システムとしての注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用している周波数を変更するか又は電波の発射を停止し、テクニカルサポートにご連絡ください。混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社のテクニカルサポートへお問い合わせください。

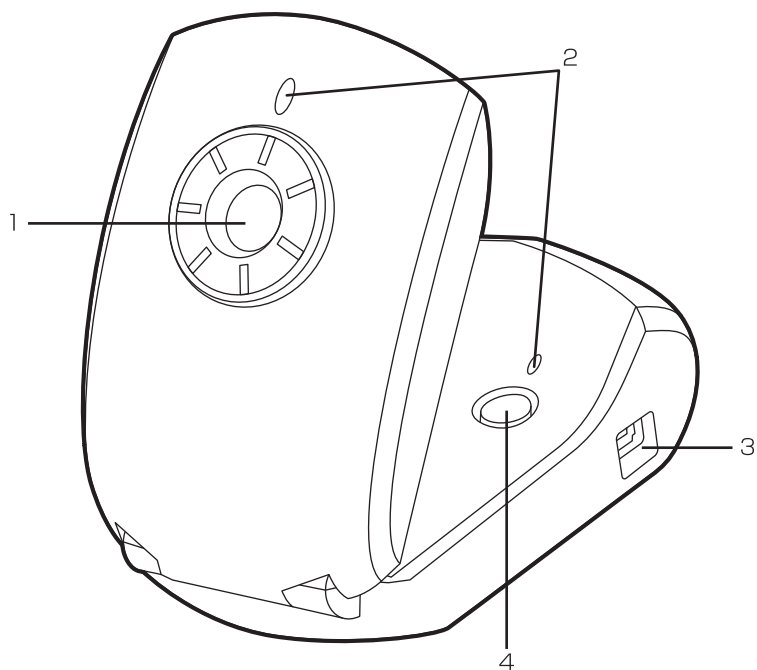
3. 各部の説明

3.1. レーザーポインターペン



番号	ボタンの名称	機能
1	PrtSc	画面のキャプチャー (PC による)
2	F5	アプリケーションで割り与えられた動作
3	F11	アプリケーションで割り与えられた動作
4	メニューボタン	センサーとペアリング(P18)
5	カーソル移動	カーソルの移動 (ペンとの非連動時)
6	左マウスボタン	マウスの左ボタンと同等
7	右マウスボタン	マウスの右ボタンと同等
8	ホイールアップ	ページが数行分スクロールアップ
	ホイールダウン	ページが数行分スクロールダウン
	Enter ボタン	項目決定
9	レーザーポインターボタン	長押しでレーザー発光
10	電源ボタン	電源オン/オフ (3 秒以上長押し)
11	連動ボタン	カーソルの連動/非連動
12	左マウスボタン	マウスの左ボタンと同等
13	左マウスボタン	マウスの左ボタンと同等

3. 2. スクリーンセンサー



番号	各部の名称	備考
1	カメラセンサー	ペンの筆跡の管理
2	LED ランプ	PCとの接続時に点灯
3	USB 端子	付属USBケーブルでPCと接続
4	同期ボタン	ペンとの同期用

4. ペンの取り扱い

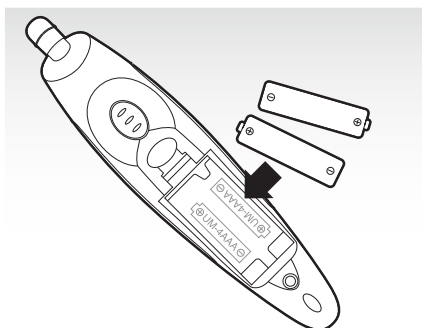
本製品に付属のレーザーポインターペンをご使用のときは下記の内容を必ず守ってお使いください。

- ・レーザー光を直接または反射された光を覗き込まないでください。
- ・レーザー光を人に向けて照射しないでください。
- ・レーザー光を眼に直接照射しないでください。
- ・子供の手が届かない場所に置いてください。

4.1. 電池の入れ方

レーザーポインターペンをご使用する前に単 4 形乾電池を使用してください。電池の挿入には下記の図を参照して、挿入してください。

1. 電池蓋を開けてください。
2. ケース内に表記してある極性（+/-）を合わせて、正しく入れてください。
3. 電池蓋を閉じてください。



お知らせメモ

- 電池を入れたときは、デフォルトで電源がオンになっています。電池の消耗を抑える場合はご使用したあとは電源をオフしてください。電源をオフにする場合は電源ボタンを 3 秒以上長押ししてください。
- 電池が消耗した場合は操作できる距離が短くなったり、通信が途切れる場合があります。早めに新しい乾電池と取り換えてください。
- 乾電池の寿命時間は目安として下記の通りになります。
 - －本製品に付属する乾電池の寿命時間は約 10 時間です。
 - －アルカリ乾電池や容量が高い乾電池を使用したときの寿命時間は約 40 時間です。

⚠ 注意

- ・ 乾電池を分解したり過熱したり火の中に入れてください。電池の破裂や液漏れ、焼けなどの原因になることがあります。
- ・ 新しい乾電池と一度使用済み又は違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・ 電池の極性を間違えて入れると破裂する原因になります。
- ・ 乾電池は保管状態により短期間で消耗することがあります。
- ・ 長期間使用しない場合は、乾電池をレーザーポインターペンから取り外してください。長期間放置していると液漏れや火災や怪我の原因になります。
- ・ 不要になった乾電池の廃棄は各地方自治体の指示に従って処理してください。

5. ソフトウェアのインストール

下記の手順に従って、付属のソフトウェアをインストールしてください。

付属CD-ROMをコンピューターのCDドライブへ挿入してください。

CD-ROM内の「AeroPresenter.exe」のアイコンを選択してください。右記の画面が表示されます。



「Next」ボタンをクリックしてください。セットアップが始まります。画面に表示している指示に従って、ドライバとソフトウェアをインストールします。



ドライバをインストールする前に、スクリーンセンサーをUSBポートへ接続しないでください。

「Next」ボタンをクリックしてください。



「I agree to the...」の項目を選択して、「Next」ボタンをクリックしてください。



次のページへ

前のページから

“Name” と “Company” にそれぞれ名前と会社名を入力してください。記入後、「Next」ボタンをクリックしてください。



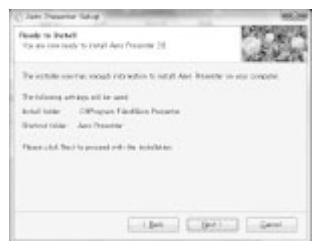
インストール先を指定します。場所を変更する場合は「Change」ボタンを押して、新しい場所を選択してください。インストール先を選択後、「NEXT」ボタンをクリックしてください。



ショートカットを作成します。現在のユーザーのみで使用する場合は “Install shortcuts for...” を選択してください。全てのユーザーで使用する場合は “Make shortcuts available...” を選択してください。選択後、「Next」ボタンをクリックしてください。



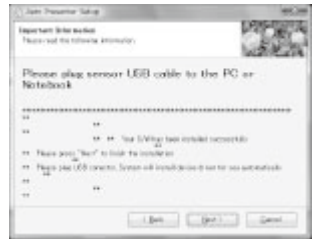
インストールの準備ができました。画面に表示してあるインストール等の情報に問題がなければ「Next」ボタンをクリックしてください。インストールが開始します。



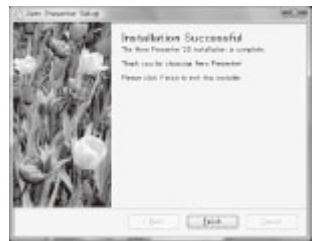
次のページへ

前のページから

インストール中に、右記のウィンドウが表示されます。スクリーンセンサーを付属のUSBケーブルでセンサー側のUSBポートに接続し、もう片方をPCのUSBポートへ接続してください。



PCへのドライバのインストールが完了しました。「Finish」ボタンをクリックしてください。



デバイスを動作させるためドライバのインストールを継続します。「次へ」ボタンをクリックしてください。



Windows XPを使用してドライバのインストール中に「新しいハードウェアの検索ウィザード開始」ウィンドウが表示された場合は、『P10「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合(XP)』をご参照ください。



これで全てのドライバのインストールが完了しました。「完了」ボタンをクリックして終了してください。

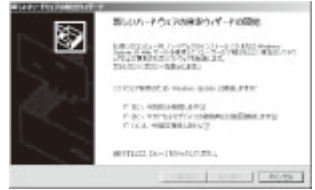


「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合(XP)

ドライバインストール中に「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」というウィンドウが表示された場合、下記の手順に従ってください。

このウィンドウが表示されなかった場合、この手順を行う必要はありません。

“いいえ、今回は接続しません”を選択して「次へ」ボタンをクリックしてください。



“ソフトウェアを自動的にインストールする”を選択して「次へ」ボタンをクリックしてください。



“いいえ、今すぐにはインターネットに接続しません”を選択して「次へ」ボタンをクリックしてください。



「完了」ボタンをクリックしてください。



次のページへ

前のページから

ドライバのインストールが開始されます。
ドライバインストール中に右記の画面が表示されるので、「続行」
ボタンをクリックしてください。



同じく「続行」ボタンをクリックしてください。ドライバの
インストールが続きます。



「新しいハードウェアの検索ウィザード」は終了します。

6. ハードウェアのセットアップ

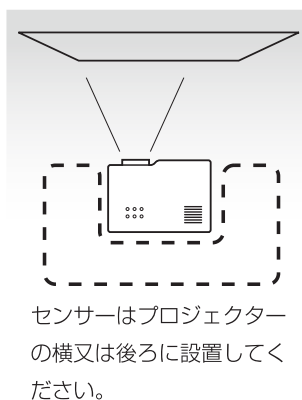
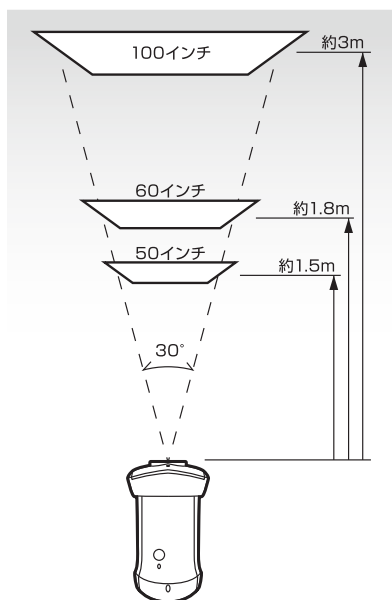
6.1. ハードウェアを設置する

ドライバのインストール(P7)後に、プロジェクターやPCとスクリーンセンサーの接続を行ってください。PCとスクリーンセンサーは付属のUSBケーブルを使って接続してください。

※プロジェクターとPCの接続方法は、ご使用になるプロジェクターの取扱説明書を参照してください。

スクリーンセンサーの設置には下記の内容を参考に設置してください。

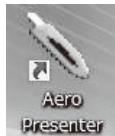
- ・センサーはプロジェクターの横又は後ろに設置してください。
- ・センサーの設置距離は投影するスクリーンサイズの約1.2倍の距離まで離して置いてください。
- ・投影スクリーンはセンサー正面から30°の範囲以内に設置するようにしてください。
- ・投影スクリーンとセンサーの間に障害物を置かないでください。



センサーの設置距離は投影するスクリーンサイズの約1.2倍の距離まで離して置いてください。

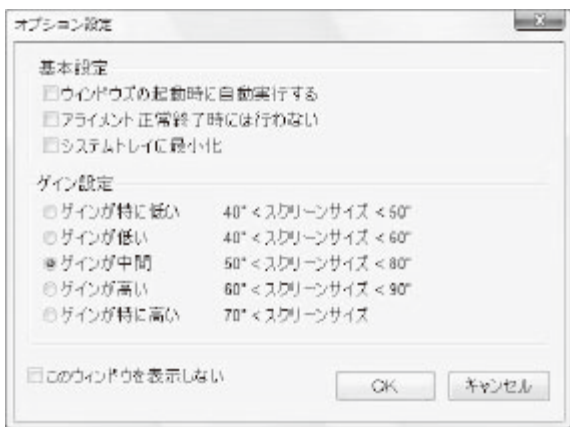
6.2. ハードウェアの設定をする

スクリーンセンサーの設置や他のハードウェアの接続を終了したあと、「スタート」メニュー内の「Aero Presenter」を選択するか、又はデスクトップ上のショートカットアイコンを選択してください。



ショートカットアイコン

ソフトウェアが起動すると、下記の「オプション設定」画面が表示されます。



基本設定

- ・ ウィンドウの起動時に自動実行する
OSの起動と同時に本ソフトウェアも起動します。
- ・ アライメント正常終了時には行わない
前回に設定した値をそのまま使用し、新しく設定しない場合は、この項目にチェックを入れます。
- ・ システムトレイに最小化
本ソフトウェアを最小化するときシステムトレイにアイコンを表示します。

ゲイン設定

投影画面の大きさに合わせてゲインの設定をします。

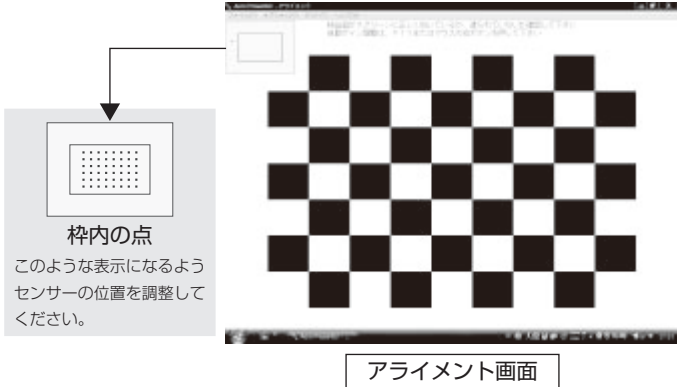
このウィンドウを表示しない

本ソフトウェアの起動直後に「オプション設定」画面を表示しないようにします。

次のページへ

前のページから

オプション設定が完了したら、「OK」ボタンをクリックしてください。「アライメント」画面が表示されます。



スクリーンセンサーの設定はこの画面で行います。

「アライメント」画面の左上に表示される四角い枠内に無数の点が収まるようにセンサーの位置や角度を調整しながら行います。全ての点が枠内に収まり、点が赤色に変わればセンサーは正しく設置されています(上図「枠内の点」を参照)。

全ての点が赤色に変わったら、キーボードの「F5」キーを押してください。アライメント(整列)が開始します。



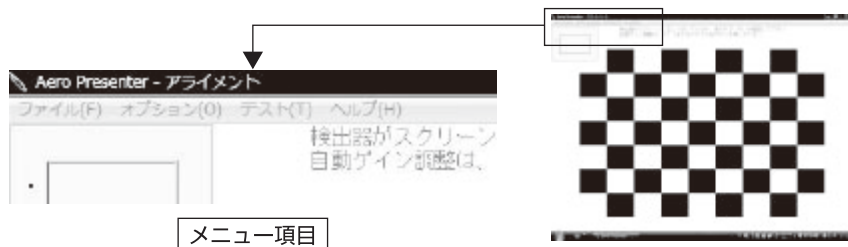
センサーの位置調整のときや「F5」キーを押す前に、画面にポップアップメッセージ等が表示されていないことを確認してください。ポップアップメッセージ等が表示中に位置調整やアライメントを行うと正しい調整／補正ができない場合があります。

アライメント終了後、下記の画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。これで全ての設置、設定は完了です。



7. アライメントソフトウェアの機能

ここではアライメント画面のメニュー項目について説明します。



ファイル

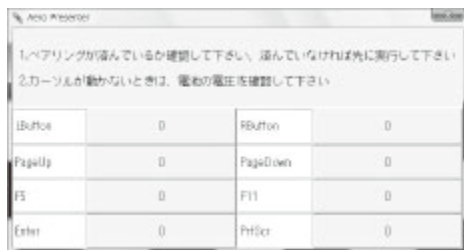
- ・アライメント
アライメント（整列）が開始します。
- ・スレショールド検出
ゲインの自動検出が開始します。
- ・トラッキング
トラッキングが開始します。
- ・終了
本ソフトウェアが終了します。

オプション

- ・オプション設定更新
「オプション設定」画面が表示されます。

テスト

- ・テストボタン
レーザーポインターペんに搭載してあるボタンの動作確認画面が表示されます。



テストボタンの画面

ヘルプ

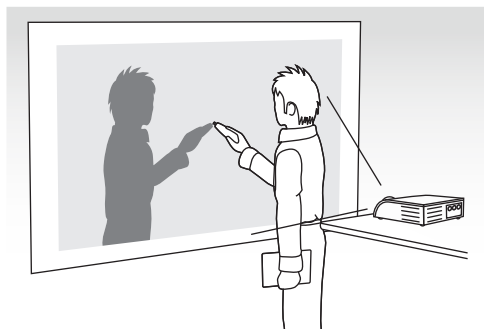
- ・アスペクト比表示
アスペクト比の情報が表示されます。
- ・精度表示
アライメント精度の情報が表示されます。
- ・ヘルプ
Aero Presenter のヘルプ情報が表示されます。
- ・導入
取扱説明書が表示されます。
- ・製品について
バージョン情報が表示されます。

8. ご使用するときの注意

下記の内容を参考にご使用ください。

センサーやプロジェクターを遮らないようにする

- ・ スクリーンセンサーの前には障害物等を置かないでください。
- ・ プロジェクターの仕様上、プロジェクターの前へ立ち操作を行うと影が発生します。なるべく影が発生しない様にご使用ください。



ペンはしっかりと正しく持つ

下記の図1、図2のような持ち方をしますと、ペン先端のボタンが反応しなくなります。

上面を上にもむけ、斜めに押し付ける様にする(図3)で、ペン先端のボタンをご利用できます。また、ご使用の際は落とさないようしっかりと持ってください。

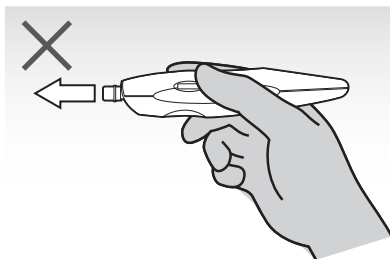


図 1. 画面に対し真っ直ぐ押し付ける

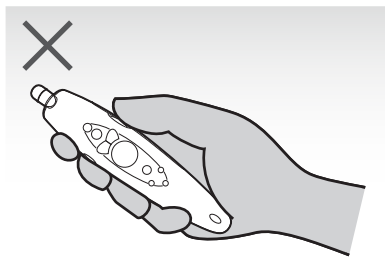


図 2. ボタンを横、または下向きに持つ

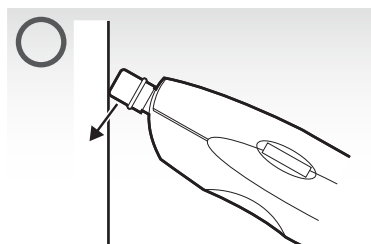


図 3. 上面を上にもむけ、ペン先端を投影スクリーンに斜めに押し付ける

9. 製品仕様

●レーザーポインターペン

RF	2.4GHz帯
レーザーポインター	650nm(赤色光)
動作範囲	約 10m
電池	単4形乾電池 2本(電池寿命:約10時間)
サイズ	W165×D29×H36(mm)
重量	85g

●スクリーンセンサー

方式	光学アライメント + 無線同期
分解能	2000×1500画素
接続	USB
サイズ	W107×D56×H39(mm)

10. サポート

10.1. トラブルシューティング

故障かな?と思ったら症状にあわせて下記項目を確認してください。

ペンを移動してもカーソルが追尾しない、または反応が鈍い

- ・スクリーンセンサーのLEDとUSBケーブルを確認してください。LEDが点灯していない場合はPCに正しく接続されていません。
- ・レーザーポインターペンの「連動ボタン」を押してカーソルの非連動 ⇒ 連動を行ってください。
- ・乾電池の容量が少ない可能性があります。新しい乾電池と取り替えてください。

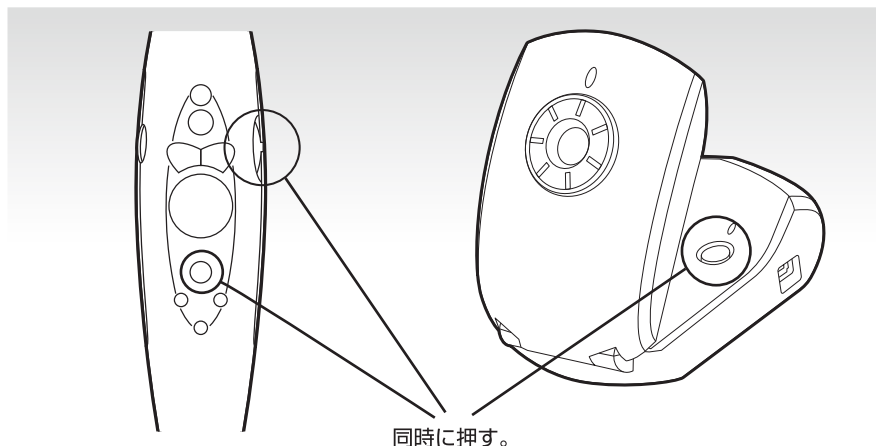
スクリーンのキャプチャができない

- ・スクリーンセンサーのLEDとUSBケーブルを確認してください。LEDが点灯していない場合はPCに正しく接続されていません。
- ・他のアプリケーションがキャプチャ機能を使用していないか確認してください。

レーザーポインターペンがスクリーンセンサーと通信していない

ペンとセンサーのペアリングを行ってください。ペアリングを行うには下記の内容をご参照ください。

センサー側の同期ボタンとペン側の「Enter」ボタンと「メニュー」ボタンを同時に押してください。センサー側の同期ボタンのLEDとペン側の電源ボタンのLEDが赤色に点滅します。点滅から数秒後、センサー側のLEDが消灯し、同期が完了します。ペン側のボタンが機能するか確認してください。



10. 2. トラブルが解決しないときは

トラブルが解決しない場合、下記テクニカルサポートまでご連絡ください。

修理を依頼する場合は保証書が必要になります。

- (1) 保証書に販売店による捺印とご購入年月日が記していない場合は保証対象外となりますので、ご購入後必ずご確認ください。また、販売店による捺印が無い場合はご購入時のレシート・領収書、通信販売の場合は製品の納品書なども購入日付の証明となりますので一緒に保管してください。
- (2) 保証書の再発行は致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

	株式会社グリーンハウス テクニカルサポート
TEL	03-5421-0580 受付時間 10:00～12:00 13:00～17:00(土、日、祝日を除く弊社営業日のみ)
FAX	03-5421-2266
ホームページ	http://www.green-house.co.jp/

※受付時間は予告なく変更する場合があります。ご確認は当社ホームページにてお願い致します。

※サポートを受ける為にはユーザー登録が必要になります。当社ホームページよりご登録お願い致します。

※ご使用上のご質問、お問い合わせは当社ホームページ内のお問い合わせフォームよりお願い致します。





株式会社グリーンハウス

〒150-0013

東京都渋谷区恵比寿1-20-22 三富ビル4階

TEL 03-5421-0580(テクニカルサポート) FAX 03-5421-2266

ホームページ : <http://www.green-house.co.jp/>